

アメリカの愛国者、真理を求める人々、靈的向上を求める人々への公開書状

【Greatchain】 アメリカ大統領選挙という、歴史上、最大級の事件が起ころうとしているときに、カルマという切り口が選択されたことは、アメリカ人のみならず、我々すべてにとって、重要な意味を含んでいる。

「カルマ？ そんな宗教じみた、馬鹿げたものに何の意味がある？」と、言う人がいたら、それは何もわかっていない人である。カルマとは、**宇宙的な正義のバランス**を意味するもので、人を苦しめた者は、回りまわって、どこかで苦しめられなければならない、ということである。そこには厳然たる法則であって、それを知らなかったからと言って、許してはもらえない、とここでも言っている。

ところが今、世界の情勢を見ると、多くの人々が、それを知っていて、わざわざこれに挑戦しているかのようにさえ見える。それほど理不尽に、世界が苦しめられている。もし本当にそう思っているとしたら、これは不思議なことだが、これは、カルマという宇宙的視点から見れば、全然、不思議ではないとも言える。もし我々が、我々を超えた存在を馬鹿にすれば、そのバランスシートは、必ず返ってくるということである。

「誰を、なぜ選ぶか」という問題は、自分の利益から発してはならない。それは、瞑想とか魂とか靈の欲求から生ずるものでなければならない。Service to the self でなく、service to others が動機になっていなければならない。それを SOTN は教えている。

SOTN

September 26, 2020

[すべてのアメリカ人は、投票する前に、これを読む必要があります。]

愛国者、真理を求める方々、靈的向上を求める方々へ、

我々すべては、カーリ・ユガの最後の時代を生きつつあります。

もっと詳しく言えば、現在の人類は、カーリ・ユガの薄明の中で、ぬかるみに囚われています。

この薄明は、現実には、1982年10月2日に始まったもので、4つの大きな、すべてのユガと結びついた、すべての夜明けと薄明の中で、最も暗く、かつ濃密な時代だと言われる。

カーリ・ユガの薄明は、しばしば「**夜明けの前が最も暗い**」という言葉として引用される時代の区分である。

この特定の場合には、夜明けは、長く予言されてきた「黄金時代」としても知られる、サチア・ユガの到来に先立つ時代にあたる。

この真理を知らない人のために言うと、カーリ・ユガは常に、圧倒的に虚偽に支配されるという特徴をもつ。それは、虚偽が大衆を支配する時代である。この迷妄の時代には、人々の行動全般において、真理よりも、虚偽が強く現れるとさえ言える。

虚偽の習癖

この固い真理のために、多くの善良な人々が、文字通り虚偽に溺れるようになる。

この傾向があまりにも強いために、彼らはそういうものに接すると、真理を考えることさえ頑強に拒否することがある。

この虚偽への強い習癖が、アメリカの投票者のかなりの部分をつくり出し、彼らは事実や真理に対し、危険なほどに無知である。

全く驚いたことに、これらの投票者たちは、彼らの最上の利益のために行動しないことが確実な候補者に、投票しようと必死になっています。あるいは自分の国の利益を考えています。

しかし、急激に悪化しつつある、この困った状況には、遥かにもっと大きな心配事があります。

カルマの大きな口

誰でも、長い間、公的な人物であった候補者に投票するときには、彼らは間違いなく、自分のよく知っている綱領によって支持しようとします。

その言葉や行動によって、その政治家は、すべての人に提示するための、いろんなアジェンダを用意しています。そしてその通りに、よい結果も悪い結果も、はっきりと表れてきます。

たとえば、もしある候補者が、戦争支持や子供殺しのアジェンダを発表するなら、それを支持する投票者は、直接あるいは間接的に、そこから生ずる死や破壊を、自ら受け取らねばなりません。

そのキーポイントは：**誰もカルマの大きな口を逃れることはできない**、ということです。

したがって最大の問題は：**誰にせよ、なぜ、そんな腐敗した政治家や犯罪者に投票することによって、そのようなネガティブなカルマを受けようとするのか**、ということです。

もしあなたの知っている候補者が、悪意に満ちた、裏切り者の、不気味な意図をもつ、信頼できない、非良心的な、公務員であるならば、あなたはどのようにして、そんな者に一票を投ずるだろうか？

カルマの法則によれば、**あなたがその人物について、真実を知っていればいるほど、あなたは、彼らが地球全体に与える死や破壊と、共犯関係を結んでいる。**

それは気の沈む考えではないか？

どうして真実を求める者や、霊的向上を図る者が、より多くのネガティブなカルマを望むだろうか！？ 我々は、我々の教育者によって、悪いカルマをつくらないように、強く指導されているのではないのか？

例外なく適用される、普遍的なカルマの法則を、知らなかったと言って、それへの違反が許されることはない。我々は、誰ひとり漏れることなく、4つのユガの宇宙サイクルの終わりには、正当な因果応報を受けるようになっている。

子ども殺し

霊的な向上を求める人々の中には、今から読むことが、気に入らない人がいるかもしれない。しかし、アメリカの歴史上、危機的なこの時期にこそ、真理は、書かれ、広く知らされなければならない。

現在、子供殺しの習慣を許容している、少なくとも 9つの州がある。また、墮胎を生き延びた赤ん坊を、死なせてもよいとする墮胎許容派の州が、少なくとも 19 がある。ワオ！

<http://stateofthenation.co/?p=23244>

<http://stateofthenation.co/?p=28806>

知らないでいる人のために言っておくと、これらの州政府は、母親と医者が癒着して、新生児を計画して殺すことを、不法に認め、制度化している。これらは事実であって、誰も反論することはできない。

この反感を起こさせる事態をどう見ようと、意図的に新生児を殺すことは、子供殺しとしか呼びようがない。

無力な、防備できない新生児を、このように殺すことは、実に、アメリカ合衆国の破滅の元である。そのためにこそ、これらの「憂慮するアメリカ市民たち」は、この広く出回った公開の手紙を、アメリカ大統領宛に書いたのである。

<http://stateofthenation.co/?p=28806>

事情を知らない人々は、民主党に支配された州政府だけが、このような嫌悪すべき法制度を、通過させたのだと思っている。そこで聞きたいが、ニューヨークが、恥ずべき彼らの子供殺し法を、One World Trade Center を、ピンクにライトアップして祝ったことと、ニューヨーク市全域に、悲劇的なコロナウィルスの爆発が起こったこととの、繋がりを知っている方はおられるだろうか？

数十年にわたる、完全に目的をもった社会的操作によって、多くの探究者は、遅い時期の中絶は「良いこと」なのだと、信じさせられてしまった。そして、母親の、まだ生まれていない子どもを殺す選択は、新生児の生きる権利より、はるかに重要だと信ずるようになった。

教えてほしい——どうして、9 か月で妊娠中絶するという不道徳な選択が、新生児の神聖な、生きて保護される権利より、重要だと言えるのか？！

おわかりだろうか——社会操作をする者たちが、この決定的に重大な問題をひそかに操作して、多くの善良な人々が——不道徳な法律の下に——罪のない新生児を殺すことは、神の与えた権利だと、本当に信じるように工作しているのである。

自己の利益

投票者が、このような不埒な候補者や、危険な政治家に合意を与える、特定の理由はある。

それは通常、熱意をもつリーダーが、投票者を強く引き付ける、何かの主張をするからである。たとえば、その政治家が、9 か月期の人工中絶のような、墮落した習慣を推奨したり、幼い子どもの性転換や、警察の廃止などの、社会的な悪を約束するような場合である。

ほとんど常に、これらの政治的リーダーは、世界中の憚らぬ侵略によって、挑発されない戦争を非難告発している。彼らはまた、「COVID-19 作戦」を企む、グローバルな犯罪者である。これ以上に悪のカルマが存在するだろうか？

<http://stateofthenation.co/?p=8358>

この物語の教訓は、真理を求めるあらゆる人々や、霊的な向上を目指す人々は、選挙日の前に、自分の魂を深く見つめよ、ということである。

もしあなたが、自己の利益だけによって投票するなら、あなたは確実に、この上なく困難なカルマを約束するものの結果を、刈り取ることになる。

結論

アメリカの政府の形は、憲法に基づく共和国と、代表制民主主義として、建国の父たちによって確立された。

代表制民主主義は、一人ひとりすべての投票者が、政府を運営すべく選ばれた人々に、明白な合意を与えることを要求している。

合衆国連邦政府が、合法的に「我々人民」を統治することができるのは、ただ、この厳かな合意の力を通じてである。

したがって、すぐれた良心をもつ人々が、彼らの合意を善なるものにだけ与えることほど重要なことはない。それはまた正義であり、公平さであり、ダールマ（法）自体である。

確かに、真理を求めるすべての人々と、霊的向上を求める人々は、こうした極めて危険で不安定な時代にあって、ダールマを堅持することの、絶対的な必要性を理解している。

したがって、ヨガを行い、瞑想する人たち、主を信ずる人々や、グルの弟子たちにとって、ダールマの卓越した役割を演ずることが、絶対に要求される。

そして、最高レベルの人間社会の基礎と、惑星文明全体の支柱を維持すること——すなわち、**ダルマ**が求められる。

最後に、親愛なる人よ、常に念頭に置くべきことは、**ダルマ**は、**ダルマ**を保護する人々を保護することである。逆に、**ダルマ**は、**ダルマ**を破壊する人々を破壊する。

——以上